

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 15 日

事務事業名		街路樹管理業務				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040602000367	
		総合計画の施策名 0406 道路整備と交通網の充実				単独/補助		060101	
政策体系		政策名 04 快適で潤いのある生活環境づくり				主要事業		所属課 建設課	
		施策名 06 道路整備と交通網の充実				市長マニフェスト			
		基本事業名 02 市道の整備				未来PJ事業		グループ 維持管理G	
		財務会計上の位置付け				合併建設計画事業		対象外	
予算科目		会計 款 項 目 事業 細				事業期間			
01 08 02 02 01 00		一般会計				単年度繰返し (年度~)			
法令根拠		道路維持事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
区画整理事業に伴い整備した街路樹の良好な景観を保持し安心安全に通行できるように、伸びた枝の剪定及び害虫駆除を行い街路樹の維持管理を行う。	市道街路樹維持管理(剪定)の設計積算・見積り・剪定作業・完了検査・支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市道街路樹の除草作業・伸びた枝の剪定・害虫駆除を実施する。		街路樹延長		m	1,507.00	1,360.00	1,360.00	1,360.00	1,360.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市道路の街路樹対象である。		街路樹総本数		本	484.00	501.00	491.00	491.00	491.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
植樹の除草・剪定・害虫駆除を実施する事で市道路の保全・住環境を整える。		施工本数		本	484.00	578.00	491.00	491.00	491.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,000	1,537	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業費計(A)	千円	2,000	1,537	2,000	2,000	2,000	2,000	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	
	述べ業務時間	時間	40.00	35.00	50.00	50.00	50.00	50.00	
	人件費計(B)	千円	116	102	145	145	145	145	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,116	1,639	2,145	2,145	2,145	2,145	

		27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
事業費の内訳	13 委託料	1,537			13 委託料	2,000	
		合計	1,537		合計	2,000	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>		街路樹管理業務委託事業の内容は、業者委託し街路樹の剪定・害虫駆除する。		

事務事業名	街路樹管理業務	事務事業No.	40602000367	所属課	建設課
-------	---------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 街路樹管理業務を放置すれば事故誘発の要因となるために、市道路管理する時点から、市道街路樹の除草作業・剪定・害虫駆除を行う。5年前と比べると災害等により街路樹の本数が若干減少している。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 道路沿線の住人は、落葉した葉が敷地内に入り清掃が大変なので落葉する前に除草・剪定・害虫駆除をしてほしいと言う意見と紅葉がきれいなので落葉後に剪定してほしいとの意見がわかれている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 毎年街路樹剪定を業者委託し実施する。	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市道路(街路樹)の保全・住環境を整える事によって適切に管理し安全に通行できる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 街路樹管理をする事が義務で放置状態にすれば事故誘発の要因になり道路管理者責任となる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 毎年街路樹の剪定により景観を維持して通行車両・歩行者の安全を確保する事である。成果を100パーセント近くに維持できるようにする。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止すれば事故誘発の原因となり、道路管理者責任となるため
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 適切な計画及び工法を練っているため、削減余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市道路(街路樹)利用者に対しては公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市道路(街路樹)は、除草作業・害虫駆除・剪定・枯木の伐採を行い通行車両・歩行者の安全確保・景観の維持を実施した。落葉等により側溝の詰りや枝が車道に出ていて視界悪いとの市民からの苦情があり、植樹を痛めないよう強剪定し又は伐採等も視野に入れて検討していきたい。																												
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																													
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																													
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上		○																											
	維持			×																										
	低下			×																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 街路樹には、歩道の表層を痛めたり、車両運行の妨げになる事があるので、景観を重視するよりも通行車両・歩行者の安全を図る為に強剪定・伐採を実施することによって癒しの効果を求める市民団体や地域住民より批判を寄せられることがあるので、充分に協議し理解を求め実施する。		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果																												
		コスト削減優先度評価結果																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>